

令和4年度決算の概要

【事業活動収支計算書】

令和4年度の事業活動収支については、学生数の増加に加え、経常費補助金等による収入も増加したことから、事業活動に係る収入額は、233,656千円増加の4,260,280千円となった。

一方、キャンパスの耐震化に伴う耐震改修工事や燃料高騰による光熱水費の増加の影響もあり、前年度と比較して事業活動に係る支出額は162,415千円の増加の3,881,850千円となり、経常収支差額は、△126,620千円の支出超過となった。

(教育活動収支及び教育活動外収支)

教育活動収入は、前年度と比較し学生生徒等納付金が71,575千円増加、また雑収入のうち退職金財団交付金が52,570千円増加したこと等により、収入合計は159,611千円増加の3,744,248千円となった。

教育活動支出は、燃料高騰による光熱水費の増加(前期比+36,799千円)や、キャンパス耐震化に伴う設備計画の進行による修繕費(前期比+113,871千円)、減価償却費(前期比+83,515千円)の増加により、教育研究経費が175,486千円増加。支出合計では前期比253,154千円増加の3,867,919千円となった。

以上から、教育活動収支差額は、△123,671千円の支出超過となった。

教育活動外収支では、前年度新校舎建設資金として調達した借入金利息を7,829千円計上。結果として、経常収支差額は△126,620千円の支出超過となった。

(特別収支)

特別収支では、施設設備費補助金510,000千円の収入により505,050千円の収入超過となった。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は378,430千円と前年に続き収入超過を維持。耐震改修工事の建物取得のため、第2号基本金を第1号基本金に振替えた結果、基本金組入額合計は95,960千円となり、翌年度繰越収支差額は282,471千円増加の△5,780,903千円となった。

【資金収支計算書】

(収入の部)

収入の部は、前年度（2021年）と比較すると、在学者数増を主因とする学納金収入 71,575 千円の増加、経常費補助金・施設設備費補助金など補助金収入 122,020 千円の増加、退職金財団交付金収入増を主とした雑収入 56,969 千円増加。その他収入に 2 号基本金引当特定資産取崩収入 1,068,275 千円などがあつたが、今年度は長期借入金収入 1,500,000 千円が無く、資金収入合計は 160,366 千円減少の 5,156,940 千円となった。

(支出の部)

支出の部は、人件費支出が退職金支出の増加もあり、前年度と比べ 91,213 千円増加、また光熱水費や教育施設の修繕費増により教育研究経費支出が 130,122 千円増加。加えて、収益事業開始に伴う収益事業元入金計上により資産運用支出が 115,568 千円増加したものの、新校舎建設に伴い前年度多額計上していた施設関係支出が前年比 799,430 千円減少したこと等より、資金支出合計は 1,363,619 千円減の 4,654,473 千円となった。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、前年度から 502,467 千円増加し、7,020,142 千円となった。

【貸借対照表】

固定資産において、有形固定資産は、キャンパス耐震化計画に沿った建物改修並びに空調設備の更新により有形固定資産が 1,060,111 千円増加した。

特定資産は、第 2 号基本金引当特定資産 1,068,275 千円の取り崩しがあり、固定資産全体では 108,217 千円の増加の 14,594,388 千円となった。

流動資産においては、現預金が 502,467 千円、未収入金が 115,279 千円増加したことにより、全体で 617,181 千円増加となった。

固定負債は、長期借入金の一部短期振替と長期未払金の返済等により前期比 85,936 千円減少の 2,643,232 千円となった。

流動負債は、施設関連の未払金増加により前期比 432,904 千円増加。

結果として、負債の部は 346,968 千円増加の 4,174,306 千円となった。

純資産の部は、1号館耐震改修工事に伴い、第2号基本金を第1号基本金に振替えた結果、基本金全体では 95,960 千円増加となり、繰越収支差額を含めた純資産額は 378,430 千円増加の 18,063,869 千円となった。